

# 協議会だより

DHA・EPA協議会  
〒151-0062  
東京都渋谷区元代々木町 32-7  
一般財団法人日本水産油脂協会内  
TEL & FAX: 03-3469-6931  
URL: <http://www.dhaepa.org/>  
E-mail: [dha\\_epa@par.odn.ne.jp](mailto:dha_epa@par.odn.ne.jp)

日油株式会社 伊東 利博

この協議会だよりが皆様に届けられるのは、オリンピック開催が目前に迫っている頃かと思います。人々が国境やイデオロギーを超えて共通理解を深めあう平和の祭典であるはずのオリンピック開催の是非をめぐり、国内においても人々が分断されているように感じます。「多様性」がもっと認められる社会を目指していた矢先に、コロナ禍によって全体主義、排他主義が進んでしまった感が否めません。

Covid-19 の感染拡大を抑制するため、人と人の距離を維持することを意味した「ソーシャルディスタンス」という言葉は、人々の精神的なつながりが失われなくなるとの配慮から「フィジカルディスタンス」という言葉に置き換えられています。これが言葉遊びにしか感じられないのは、物理的な距離に影響されずに、社会的距離を維持するコミュニケーション方法がまだ見つかっていないからなのでしょう。

話は変わって、魚の語源はお酒のつまみを表す「酒菜(さかな)」であるらしく、肴として魚肉が良く使われていたことからそう呼ばれるようになったとのことです。魚は古来より日本人の健康だけではなく、コミュニケーションの促進にも一役買っていたことを示す例かと思えます。ニューノーマルで広がった距離を詰めるためには、新たなコミュニケーション方法を考えるよりも「オールドノーマル」の常套手段【飲み会】に頼るのが手っ取り早いと思ってしまう短絡的な筆者は、まだまだ魚が食べ足りず、DHA・EPA をたくさん取る必要があります。

《幹事会のうごき》 令和3年6月10日(木)に開催された本年度第3回幹事会は新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、ZoomによるWeb会議とした。

- ・オンラインセミナーを7月16日(金)に実施するが、その打ち合わせを行った。講師は東海大学 生物学部 海洋生物学 教授の木原稔先生になります。  
「魚の内臓はゴミじゃない -廃棄されるサケの胃にはグレリンがある- 」と題して行います。ご案内は別途配信した通りです。
- ・公開講演会の講師について検討した。

## 《2021年5月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2021年5月			2021年1月~5月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
2,452	535,841	218.5	10,165	2,237,586	220.1

## 《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2021年5月	2021年4月	2020年5月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	1,950	1,816	2,250

## <情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2021年第24週	2021年第23週	2021年計(第24週まで)	2020年計(第24週まで)
チリ	31,688	19,917	1,197,215	1,047,962
ペルー	173,441	189,124	2,709,097	1,477,221